

講義要項(シラバス)

科目名	生活支援技術Ⅱ		授業方法	講義・演習	
担当教員名	三輪 早和子		必修・選択	必修	単位数 4単位
学科	介護福祉科	学年・時期	1年 通年		回数 30回
担当教員の 実務経験	介護福祉士養成施設 専任教員5年以上 介護職実務経験10年以上				
<p>授業の目的及びねらい</p> <p>尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識・技術を習得する学習とする。</p>					
<p>授業終了時の到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICFの視点を生活支援に活かすことの意義を理解し、生活の豊かさや心身の活性化のための支援を理解する。 ・対象者の能力を活用・発揮し、自立に向けた生活支援基礎的な知識・技術を習得する。また実践の根拠について説明できる能力が身につくようにする。 ・健康を保持するための休息や睡眠の重要性を理解し、安眠を促す環境を整える支援を理解できるようにする。 					
回数	各回のテーマ・内容			授業以外の事前準備学習内容	
1	休息・睡眠を整える(ベットメイキング)			適宜指示を出す	
2	ベットメイキング(1)			適宜指示を出す	
3	ベットメイキング(2)			適宜指示を出す	
4	ベットメイキング(3)			適宜指示を出す	
5	自立した身じたくとは			適宜指示を出す	
6	自立に向けた身じたくの介護(1)			適宜指示を出す	
7	自立に向けた身じたくの介護(2)			適宜指示を出す	
8	自立に向けた身じたくの介護(3)			適宜指示を出す	
9	食事の意義と目的			適宜指示を出す	
10	自立に向けた食事の介護(1)			適宜指示を出す	
11	自立に向けた食事の介護(2)			適宜指示を出す	
12	自立に向けた食事の介護(3)			適宜指示を出す	
13	自立に向けた食事の介護(4)			適宜指示を出す	
14	自立に向けた食事の介護(5)			適宜指示を出す	
15	まとめ			適宜指示を出す	

16	自立した入浴、清潔保持とは	適宜指示を出す
17	自立に向けた入浴、清潔保持の介護(1)	適宜指示を出す
18	自立に向けた入浴、清潔保持の介護(2)	適宜指示を出す
19	自立に向けた入浴、清潔保持の介護(3)	適宜指示を出す
20	自立に向けた入浴、清潔保持の介護(4)	適宜指示を出す
21	自立した排泄とは	適宜指示を出す
22	自立に向けた排泄の介護(1)	適宜指示を出す
23	自立に向けた排泄の介護(2)	適宜指示を出す
24	自立に向けた排泄の介護(3)	適宜指示を出す
25	自立に向けた排泄の介護(4)	適宜指示を出す
26	休息、睡眠とは	適宜指示を出す
27	休息、睡眠の介護(1)	適宜指示を出す
28	休息、睡眠の介護(2)	適宜指示を出す
29	休息、睡眠の介護(3)	適宜指示を出す
30	まとめ	適宜指示を出す
<p>成績評価の方法 試験結果50%、授業態度・出席状況・レポート50%により評価する。</p>		
<p>使用テキスト・参考書等 最新介護福祉士養成講座7「生活支援技術Ⅱ」第3版 介護福祉士養成講座編集委員会編集 中央法規出版</p>		
<p>授業に関する特記事項(携帯電話の取り扱いや授業内のルール等) 携帯電話の扱いは教員の指示を守る。 実技は、真剣な態度で取り組むようにする。</p>		

|
